

快速特急  
ユニバーサル  
ステーション

### ぼくの町の「新うぬま駅」



くらしと鉄道新聞  
すべての人にやさしい  
ユニバーサルステーション

名鉄新うぬま駅の西口です。中山道の宿場町うぬま宿を意しきした白と黒の格子のデザインになっています。

新うぬま駅の歴史について  
駅長さんに聞きました  
新うぬま駅は、大正十五年十月一日、犬山橋の開通によりたん生しました。  
平成十七年の空港線開業時には、駅のプラットホームが増えたり、エレベーターを作ったりしました。  
さらに今年の三月、駅前ロータリーが新しくなり、みんなが利用しやすい便利な駅になりました。

### 体験してきました



2009.8.23  
石原 蔵人

本当にすべての人にやさしい鉄道なのか調べるために車いすを借りて電車に乗ることにしました。  
「新うぬま駅から二つ先の犬山駅まで、一人で買い物に出かける」という設定で、バリアフリーかどうかのように生かされているかを調べることにしました。

駅ちゅう車場の工夫



車いすのせん用ちゅう車場がありました。スロープや、雨をよけるひさしがありました。車いすの人が利用しやすいちゅう車場でした。

自動券売機の工夫



車いすでもとどくタッチパネルの高さでした。また、お金の投入口は低くて、半円形でした。

駅の工夫



新うぬま駅の階段横には、スロープがありました。また、各ホームと違う通路間には、階段のほかエレベーターもありました。エレベーターのボタンも車いす用に低く取り付けられました。

電車の工夫



7700系には、車いすが置けるほどのスペースがありました。また、そのスペースには、車いすでもにぎれる低い手すりが付いていました。

電車に乗り降りする時



乗る時、おりる時には、専用フラップを使います。電車とホームの間は高さがちがうので、車いすでは電車に乗れないからです。フラップはゆるやかでした。

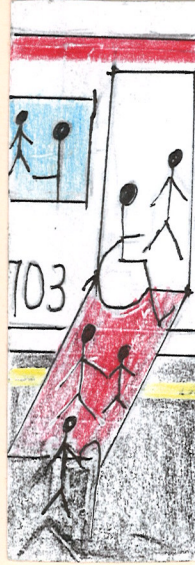
駅員さんのやさしさ



犬山駅は、まだエレベーターが改札内にはないので、せん用の通路を通って行きました。  
駅員さんが親切におして連れていってくれました。また、乗った駅の駅員さんがおりる駅の駅員さんに電話で連絡して電車の中までむかえに来てくれました。

### 今後の鉄道に期待すること

- ① のぼりおりがある駅には、エレベーターを設置してほしい。
- ② 車いすスペースがない車両には、広い車いすスペースをいすけてほしい。
- ③ 車いすスペースで安定させるため、車内専用ベルトを全車両につけてほしい。
- ④ 電車の出入り口からフラップが出るようにしてほしい。転落防止にも役立つ。



### 感想

ぼくには祖父がいます。祖父は高齢のため、あまり上手に歩けません。車いすを使うこともありますが、もし祖父が電車に乗る時に、どんな気持ちになるのだろうと思う、ぼくも車いすを使って電車に乗ってみたいと思いました。  
この体験を終えて、ぼくは、ふだん何げなく使っている鉄道が、すごくバリアフリーだと気づきました。実際に体験しないと分からなかったこともたくさんあります。特に、車いすに乗ってほしいという思いが、ぼくを動かして、この体験をさせてくれた駅員さんには、本当に感謝しました。そして、車いすに乗っていても、安心して電車に乗れることが出来たこと、ぼくが駅でつまづいた人を見かけた時、何か出来ることはなかったか、考えがよくなりました。接したいと思いません。

